

木瀬川・富士町 町内一斉清掃

令和 6 年 4 月 21 日（日曜日）8:00～

町内一斉清掃は、町内会・自治連合会などの協力により、市民の共有財産である道路、公園や河川などの清掃する活動です。この活動を通じて、環境の保全や地域の方々の交流を深めることにもなっています。

毎年この時期は木瀬川と富士町両自治会で町内一斉清掃が行われています。清掃は側溝・河川・（汚土の清掃）道路・空き地などのゴミなどを清掃します。汚土は各町内 17 ヲ所。指定された場所に集積し、後日沼津市が回収します。草・カン等は自治会の車で回収し 1 ヲ所に集め、協議員が分別しました。



富士町河川敷清掃風景



木瀬川清掃風景



汚土



1 ヲ所に分別されたゴミ



新田川取入れ口



新田川



黄瀬川新田堰

木瀬川地区は藩政時代西側の水野家領地（沼津藩）と、東側の江川代官領地とに二分されていたという。西北部を上田（タカマチの田）と呼び、上の水（牧堰＝門池用水）を使い、東南部の黄瀬川端よりの耕地（カワバタの田）は新田川（新田堀）の用水を利用した。黄瀬川下流に掛かる最後の堰で、新田川は中石田と木瀬川の境から富士町・木瀬川を通り狩野川に注ぐ。